

平成 28 年 1 月 27 日

各 位

会 社 名 みらかホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表執行役社長 鈴木 博正
コ ー ド 番 号 4 5 4 4 東 証 第 1 部
問 合 せ 先 I R 広 報 グ ル ー プ
電 話 番 号 0 3 - 5 9 0 9 - 3 3 3 7

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社の米国子会社である Miraca Life Sciences, Inc. (米国、テキサス、以下「MLS」)が、平成 28 年 3 月期第 3 四半期 (平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)においてのれんの減損損失を計上することとなりました。これに伴い、平成 27 年 10 月 30 日に公表しました連結業績予想を修正しますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社は平成 23 年に Caris Diagnostics, Inc.(現・MLS)及びその子会社を傘下に有する Caris Life Sciences, Inc.(現・CDx Holdings, Inc.)を完全子会社化し、米国病理検査市場に参入しました。しかしながら、昨今の事業環境は取得時の見通しよりも厳しいものとなっており、現時点での業績及び最新の中期見通しに基づき減損テストを実施した結果、本第 3 四半期において MLS に係るのれんを減損処理することとなりました。

当該減損損失額として、米国会計基準に則り MLS において約 US\$199 百万を計上いたします。この結果として、当該減損損失額から日本基準及び米国会計基準それぞれの既償却額の差額を控除した約 US\$184 百万(約 224 億円、為替レート：121.71 円/US\$)を特別損失として当社連結損益計算書に計上いたします。

今後 MLS では、検査プロセスの自動化、新しい LIS (Laboratory Information System) の導入、ラボの統合などの一層の合理化施策を推進するとともに、顧客との IT 連携強化等の顧客獲得施策を強化し、事業収益の拡大を目指します。

2. 通期業績予想の修正について

1) 当期の連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純 損 益 (百万円)	1 株 当 た り 当 期 純 損 益
前回発表予想 (A)	210,000	25,700	24,500	14,900	261.59 円
今回修正予想 (B)	210,000	25,700	24,500	△5,800	△101.8 円
増 減 額 (B - A)	—	—	—	△20,700	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 3 月期)	204,667	27,012	26,566	16,002	274.82 円

※前回発表予想は平成 27 年 10 月 30 日に開示しております。

2) 修正の理由

当第3四半期においてMLSに係るのれんの減損損失約224億円を特別損失に計上するため、親会社株主に帰属する当期純利益が大幅に減少する見込みであり、上記のとおり修正いたします。

なお、売上高、営業利益、経常利益の変更はありません。

3. 配当予想について

配当につきましては、平成27年5月1日に公表した予想値(年間配当:110円)から変更はありません。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上